



# 大島分場トピック

No. 301

(旧大島分場だより)

平成 16 年 11 月 2 日

東京都水産試験場 大島分場発行  
〒 100-0212 東京都大島町波浮港 18  
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383  
ホームページ <http://www.fish.metro.tokyo.jp>

## キンメダイ (*Beryx splendens*) 仔稚魚を大量採集！

--- 島の漁業者の要望に応えた資源管理に一步前進 ---

キンメダイは水産上重要な魚ですが、その初期生活史についてはほとんど分かっていません。特に伊豆諸島周辺での記録は少なく、卵からふ化した仔稚魚がどこにいるのか、大きな謎となっていました。これまでの調査で、卵は発生が進むにつれ水面近くに浮上し、ふ化すると徐々に比重を増し、中層へ沈降することが分かっています。そこで、キンメダイの仔稚魚のいると思われる中層を狙って、9月13～14日に漁業調査指導船「みやこ」(図1)により、伊豆諸島南部の黒瀬海域で、MTD ネットとボンゴネット(図2)を用いた中層プランクトン調査を行いました。

### ・キンメダイの赤ちゃん発見！！

調査の結果、水深 300 m から表層までの 7 つの層から、キンメダイ仔魚稚魚が合計約 290 個体採集できました。特に水深約 50 m でのサンプルに多く、サイズもふ化直後の体長 2.5mm から稚魚としての特徴をもつ 8.9 mm まで、各サイズの仔稚魚が採集できました。仔稚魚は背鰭と腹鰭が長く伸びることが特徴です。さらに、体表には赤い色素が確認できました(図3)。



図3 キンメダイ稚魚(体長6mm)



図1(上) 漁業調査指導船「みやこ」(136トン)

図2(右) プランクトン採集ネット(ボンゴネット)



### ・資源管理へ向けて

伊豆諸島の漁業はキンメダイへの依存度が高く、資源を持続的に活用していくためには、しっかりとした資源管理が必要となっています。特に、キンメダイがどこでどのように繁殖し成長するのかを知ることは、資源管理上とても重要なことです。東京都水産試験場のこれまでに得られたデータとともに、今回得られたサンプルをさらに詳しく分析し、今後の資源管理に役立てていきます。